

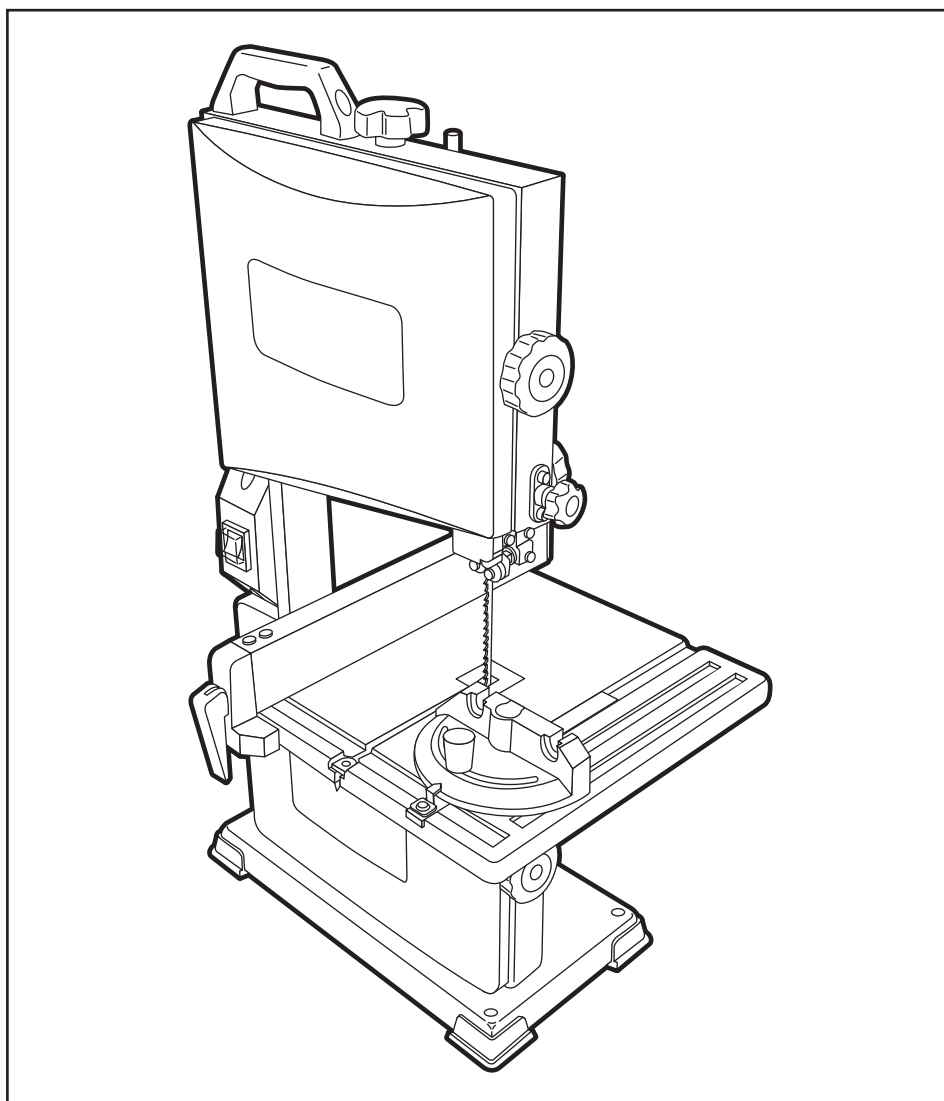


Fujiwara
Sangyo Co.,Ltd.
HYOGO MIKI

SWB-300W

木工用バンドソー

取扱説明書



このたびはSK11木工用バンドソーSWB-300Wをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
安全に正しくご使用いただくために、本取扱説明書をよくお読みいただき、安全にお使いください。
また、この取扱説明書はお手元に大切に保管しておいてください。

*外観及び使用などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

目次

1. 仕様・用途・各部名称	4～5
仕様	4
用途	4
各部名称	5
2. 安全上のご注意	6～11
安全確保のために	6
警告表示・注意表示について	6
絵表示について	6
電動工具を安全にご使用いただくために	6～9
木工用バンドソーを安全にご使用いただくために	9～11
3. 使い方	12～21
ご使用前の準備	12
組み立て	12～13
各種調整	14～19
作業方法	20～21
4. 保守・点検	22
作業後の保管	22
故障内容と対処方法	22

仕様・用途・各部名称

仕様

■標準付属品

- 六角棒レンチ：4mm, 6mm 各1本
- 両口スパナ8×10mm
- マイターゲージ(角度定規)
- リップフェンス(直線ガイド)
- ベース取付用ゴム足
- プッシュスティック(押し棒)
- プッシュスティック収容フック

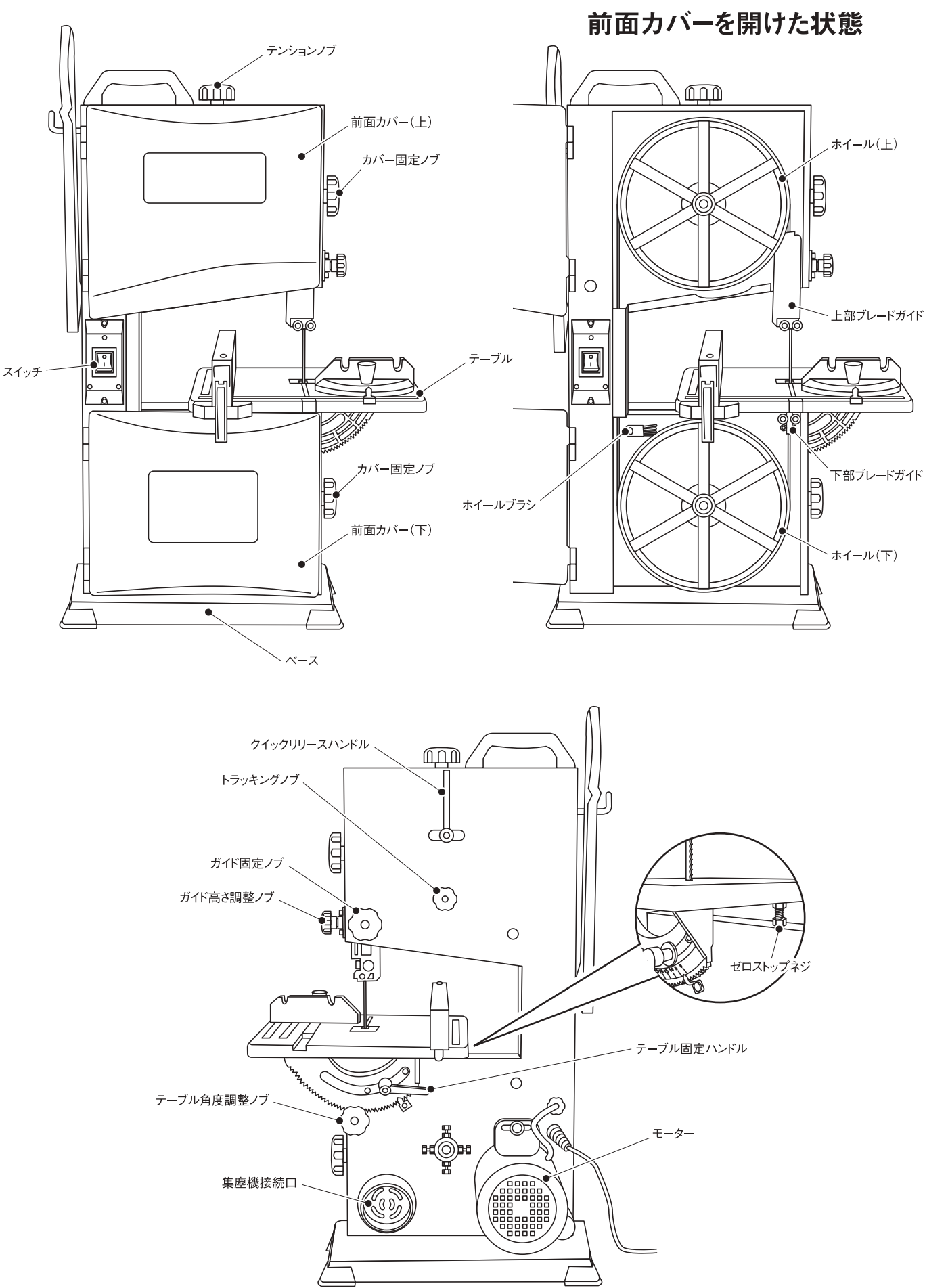
型 式	SWB-300W	
電 源	単相交流100V 50Hz	単相交流100V 60Hz
電 流	3.2A	
消 費 電 力	300W	
無 負 荷 回 転 数	1,490min ⁻¹	1,790min ⁻¹
ノコ刃回転速度	635min ⁻¹	750min ⁻¹
切断能力の目安	90度：90mm厚 / 45度：45mm厚 ※堅い木は上記の半分の厚みを目安としてください。また、能力目一杯の厚みの材料の切断は、真っ直ぐに切れない場合があります。	
フ ト コ ロ 寸 法	225mm	
テ ー ブ ル 寸 法	300 × 300mm	
テーブル傾斜角度	45度	
コ ー ド 長	2.0m	
本 体 寸 法	高さ約720mm × 幅約500mm × 奥行約370mm	
本 体 質 量	約18kg	
ノ コ 刃 寸 法	幅6.35mm × 周長1575mm × 6山/インチ当 (装着済み)	

*改良のため、仕様および形状などは変更する場合がありますので、御了承ください。

用途

- 各種木工材料の切断
- ※注意：本製品では、金属・石材・炭(竹炭や木炭)など木工材料以外の切断作業には使用しないでください。

各部名称



2.安全上のご注意

安全確保のために

- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いの方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示・注意表示について

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

「△注意」に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

絵表示について

- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。

禁止 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



強制 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



注意喚起 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



電動工具を安全にご使用いただくために

警告

■作業場の環境について

- 作業場はいつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。

子供を近づけないでください。



- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- この機器で遊ぶことがないように、子供を監視してください

作業場の周囲状況も考慮してください。



- 電動工具は、雨中で使用したり湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。



- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

■電気に関する安全事項

感電に注意してください。



- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

コードを乱暴に扱わないでください。



- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがったところに近づけないでください。

屋外使用に合った延長コードを使用してください。



- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

騒音防止規制について



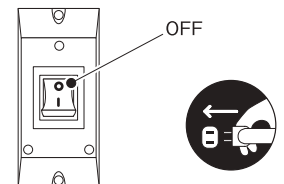
- 騒音に関しましては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。
ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

■人的な警告事項

不用意な始動は避けてください。



- 電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、
スイッチが切れていることを確かめてください。



きちんとした服装で作業してください。



- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。



- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

無理して使用しないでください。



- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。



禁止

作業にあった電動工具を使用してください。

- 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。



禁止

油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して慎重に作業してください。
- 常識をはたらかせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。



！

保護メガネを着用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また粉じんの多い作業では防じんマスクを着用してください。





！

集塵装置が接続できるものは接続してください。

- 電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続し、正しく使用してください。



禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



！

防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。





！

使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。



！

材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。

- 加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(加工する材料を動かす製品は除く)



！

調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。



！

●この製品は安全に責任を負う人の監視または指示がない限りは、補助を必要とする人(子供を含む)に単独では使用させないでください。

■工具の使用と手入れ



点検・確認

損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、安全カバーやその他の部品に損傷が無いか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。



！

●破損した安全カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。



禁止

次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



電源プラグを抜く



！

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。



よく読む

電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが切れないようにしてください。



点検・確認



！

■修理とメンテナンス



禁止

正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- 取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やケガの原因となる恐れがありますので使用しないでください。



分解禁止

電動工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しただけでなく事故やケガの原因となります。
- 電源コードが破損した場合、交換には専門知識が必要ですので、販売店にお申し付けください。

木工用バンドソーを安全にご使用いただくために

●先に電動工具を安全にお使いいただくための重要事項について述べましたが、木工用バンドソーをご使用の際には、さらに次に述べる「警告・注意事項」を守ってください。

⚠ 警告

■使用電源に関して



！

使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因となります。



禁止

必ずアース(接地)をしてください。

- 故障や漏電などのとき、感電の恐れがあります。(詳細は、11ページの「アース・漏電遮断器設置の確認」の項をご参照ください。)

8

9

■切断作業に関して



使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用して使用しないでください。

- ノコ刃の回転に巻き込まれ、けがの原因となります。



使用中は、工具類（ノコ刃など）や回転部、切りくずなどに手や顔を近づけないでください。

- けがの原因となります。



使用中は、材料を両手でしっかりと保持して切断してください。

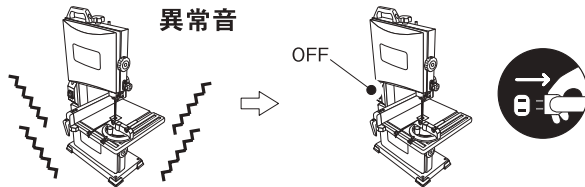
- しっかりと保持しないと、強い反発力が生じた際に、けがの原因となります。

■点検・修理に関して



使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

- そのまま使用していると、けがの原因になります。



誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ノコ刃など）や本体に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因となります。



前面カバーを開いた状態では、絶対に機械を使用しないでください。

- 事故やけがの原因となります。

⚠ 注意



刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

- 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因となります。



ノコ刃にヒビや割れなどの異常がないことを確認してください。

- ノコ刃が破損し、けがの原因となります。



テーブルの上に、工具や切断片などを放置したまま作業しないでください。

- テーブルの上のものが飛散し、けがの原因となります。



ノコ刃の駆動中は、切断片を取り除かないでください。

- ノコ刃に巻き込まれて、けがの原因となります。



材料に釘などの異物がないことを確認してください。

- 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。



材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。

- けがの原因となります。



作業台がわりにテーブルの上に乗らないでください。

- 思わぬ事故の原因となります。



テーブルインサートが破損や摩耗した場合は、必ず新しいものと交換してから作業をしてください。

- 思わぬ事故の原因となります。

■作業場に関して



- 作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。

- 作業をする場所が5ページの「電動工具を安全にご使用いただくために」にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

■延長コードに関して



- 延長コードは損傷のないものを用意してください。

電源の位置が離れていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

右記表は、使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示しています。

コードの太さ (mm ²)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ	～5A	5～10A	10～15A
1.25	20m	—	—	—
2	30m	15m	10m	—
3.5	50m	30m	20m	—

- 延長コードは本機のコードと同じ被覆を施したコードを使用してください。

■アース・漏電遮断器設置の確認



- アース線をガス管に取り付けますと爆発の恐れがありますので、絶対にしないでください。



ご使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電源設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断器（以下、漏電遮断器と言います）が設置されていることを確認してください。



また、この機体は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電遮断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようおすすめします。本体左側側面後方部のアースネジよりアースを必ず取って安全に作業してください。（図1）

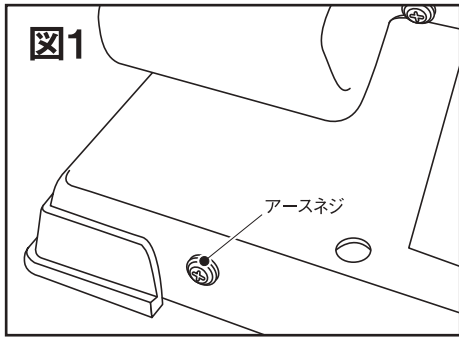


テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アースクリップと機体金属外枠との間の導通を確認してください。



地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気店にご相談ください。

- 本体は作動中、振動を起こしますので、丈夫で堅い平面に設置・固定してください。（12ページ「2）本体を設置・固定してください。」の項をご参照ください。）



3.使い方

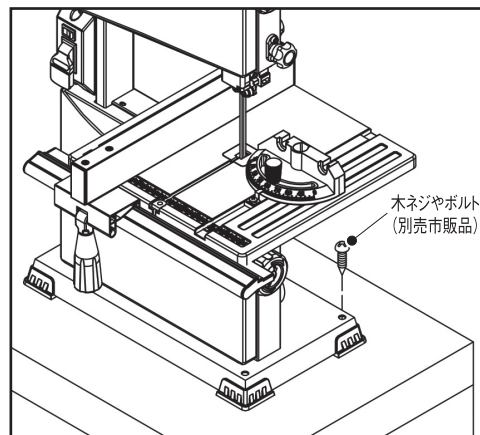
ご使用前の準備

1) 機体をアース(接地)してください。

- 接地は本体左側面後方部にあるアース線接続ネジを使用してください。(11ページ図1参照)

2) 本体を設置・固定してください。

- 本体は作動中、震動しますので、頑丈で堅い平面に固定してください。
- 固定には、本体底面にあります取付用穴を使い、木ネジや、ボルトナットでしっかりと固定してください。

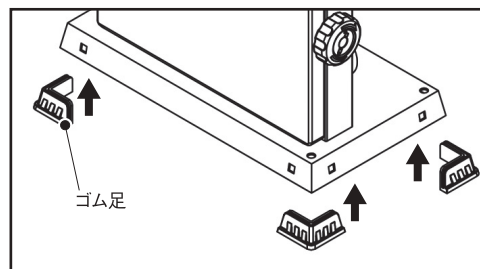


組み立て

- 警告** ●組み立ての前に本体のスイッチが切れていること、電源プラグがコンセントから抜いてあることを確認してください。

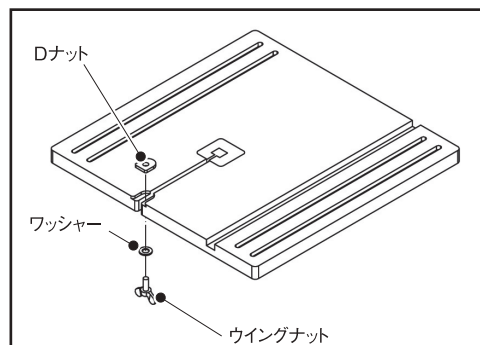
1) ゴム足の取り付け

- 本機ベース部分の四隅にゴム足を押し込むようにして取り付けてください。

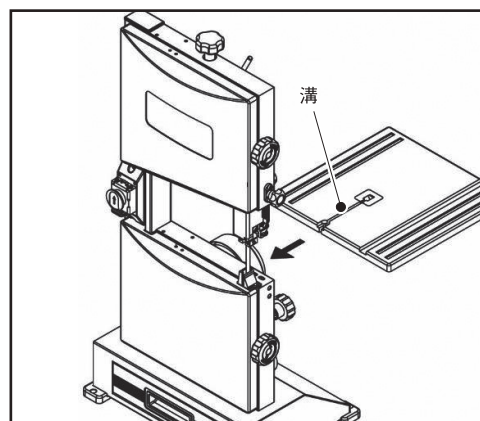


2) テーブルの取り付け

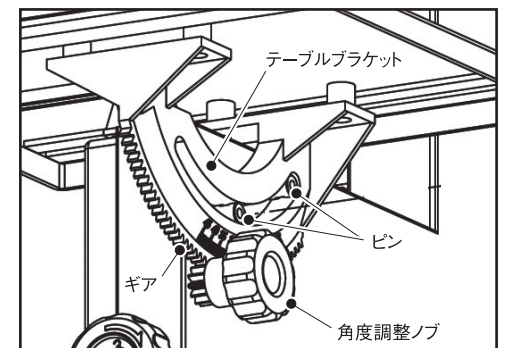
- テーブルからDナット、ワッシャー、ウイングナットを取り外してください。



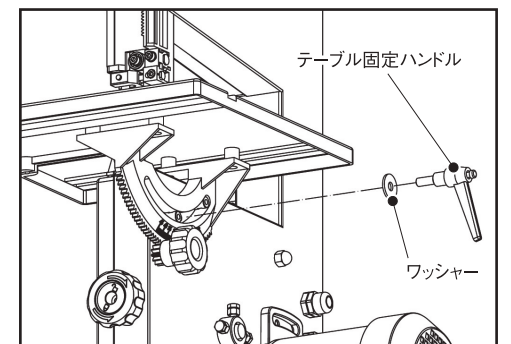
- テーブルの溝にノコ刃を通して、本機へテーブルを取り付けてください。



- 角度調整ノブを引き、テーブルブラケット側と角度調整ノブそれぞれのギア部を合わせたら角度調整ノブを離してください。
- 本機側にある2つのピンを、テーブルブラケットの溝に合わせてください。

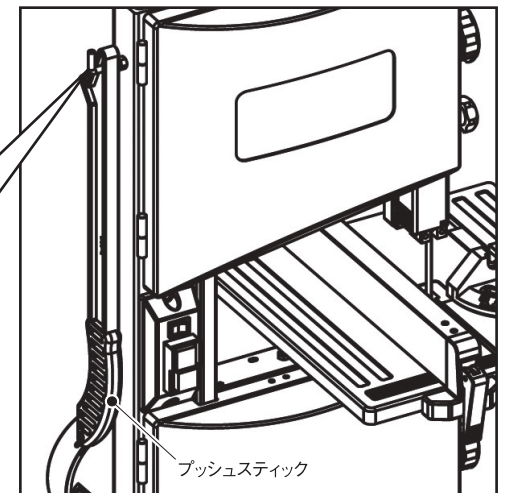
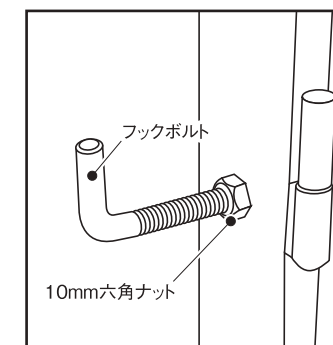


- テーブル固定ハンドルにワッシャーを通して本機側のネジにねじ込み、テーブルを固定してください。



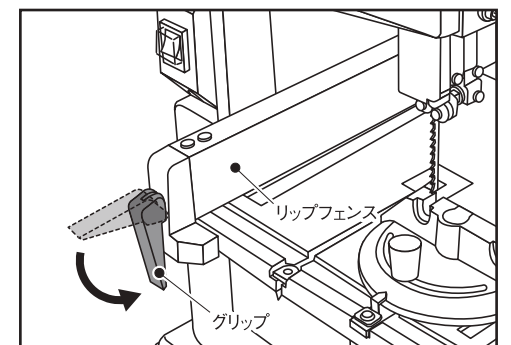
3) プッシュスティック収容フックの取り付け

- 本体側面にフックボルトをねじ込んで、10mm六角ナットを締め付けて固定してください。

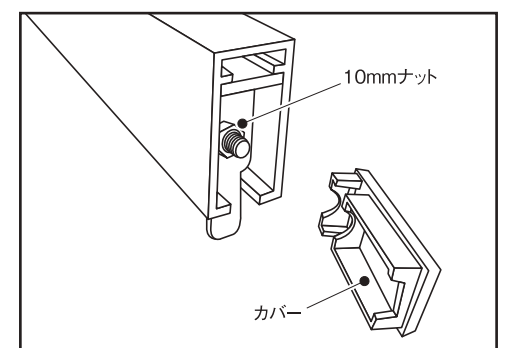


4) リップフェンスの取り付け

- リップフェンスのグリップを上げて、テーブル後方の端にリップフェンス先端部を引っ掛け、手前側をテーブル前方の端に合わせたら、グリップを下げてください。
※グリップを下げている時は、前面カバー(下)にグリップ部が当たるために開くことは出来ません。



- リップフェンスの固定がゆるい、または固すぎてテーブルに取り付けられない、固定が出来ない場合は、リップフェンス先端の黒色カバーを取り外して、中にある10mm六角ナットを回して調節してください。ナットを時計回りに回すにしたがってフェンスの固定は強くなり、反時計回りに回すとゆるくなります。

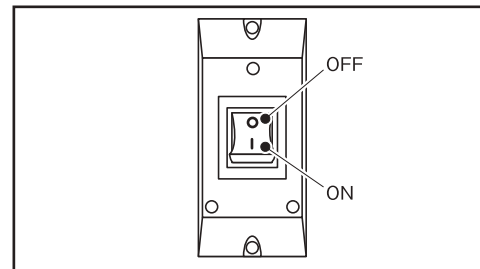


各種調整

警告 ●調整の前に本体のスイッチが切れていること、電源プラグがコンセントから抜いてあることを確認してください。

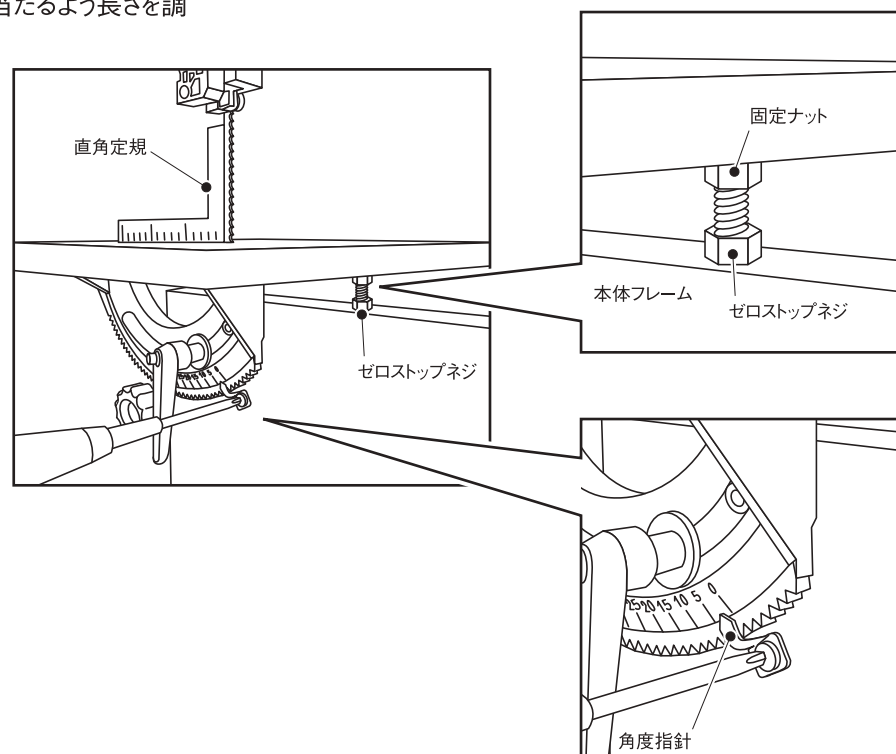
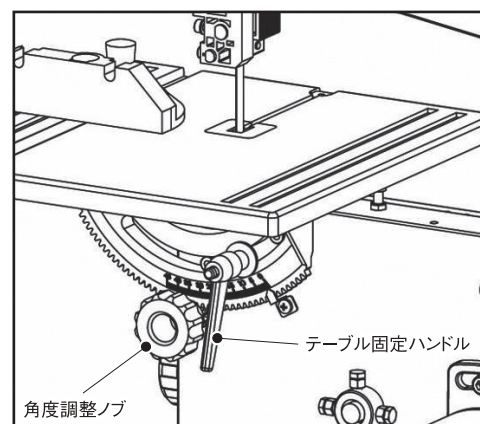
1) 電源スイッチ

- 電源スイッチは、本体正面左側にあります。
 - ・スイッチ(1側)を押すと本機が作動します。
 - ・スイッチ(0側)を押すと本機が停止します。
- ※ノコ刃の回転が完全に停止するまで、約10秒程度かかります。



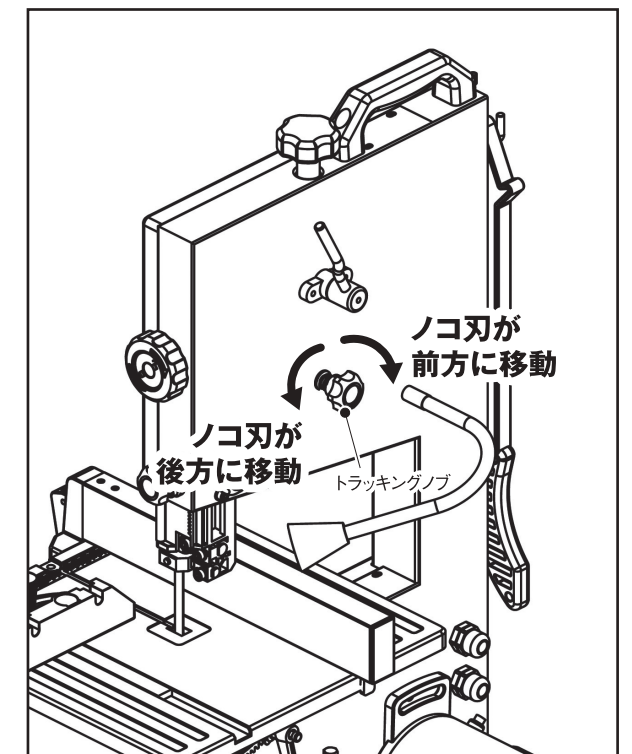
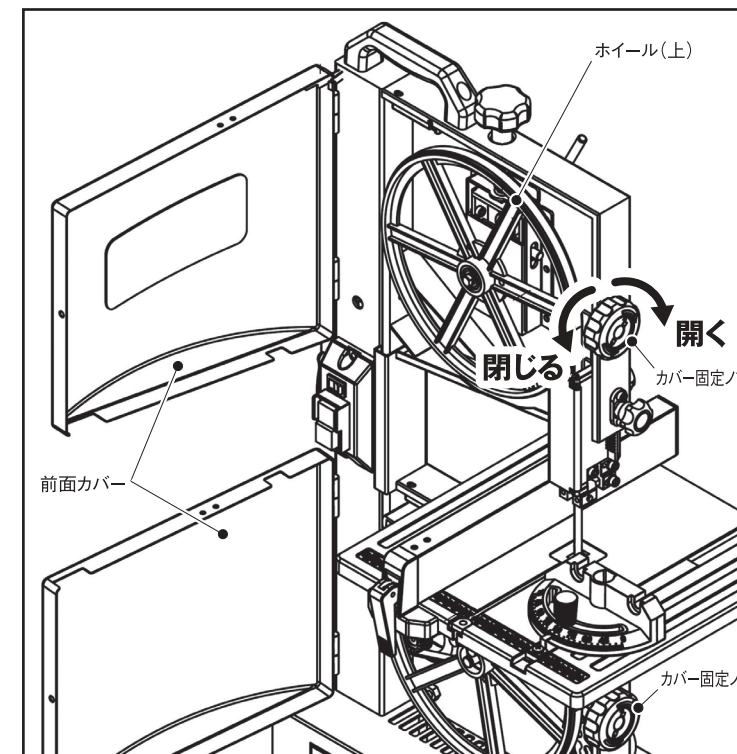
2) テーブル角度の調整

- テーブル固定ハンドルを反時計回りに回してテーブルの固定をゆるめてください。
- 角度調整ノブを回すことで、テーブル傾斜角度をお好みの角度に調節できます。
- テーブルゼロストップネジを固定している10mm六角ナットをゆるめてください。
- スコヤまたは三角定規などを用いて、ノコ刃とテーブル角度が90度になるようにテーブル角度を調節してください。
- 角度の調整が終わりましたら、固定ハンドルを時計回りに回して、テーブルをしっかりと固定してください。
- ゼロストップネジが本体フレーム表面に当たるよう長さを調節し、ナットで固定してください。
- 角度指針を0度に調節してください。



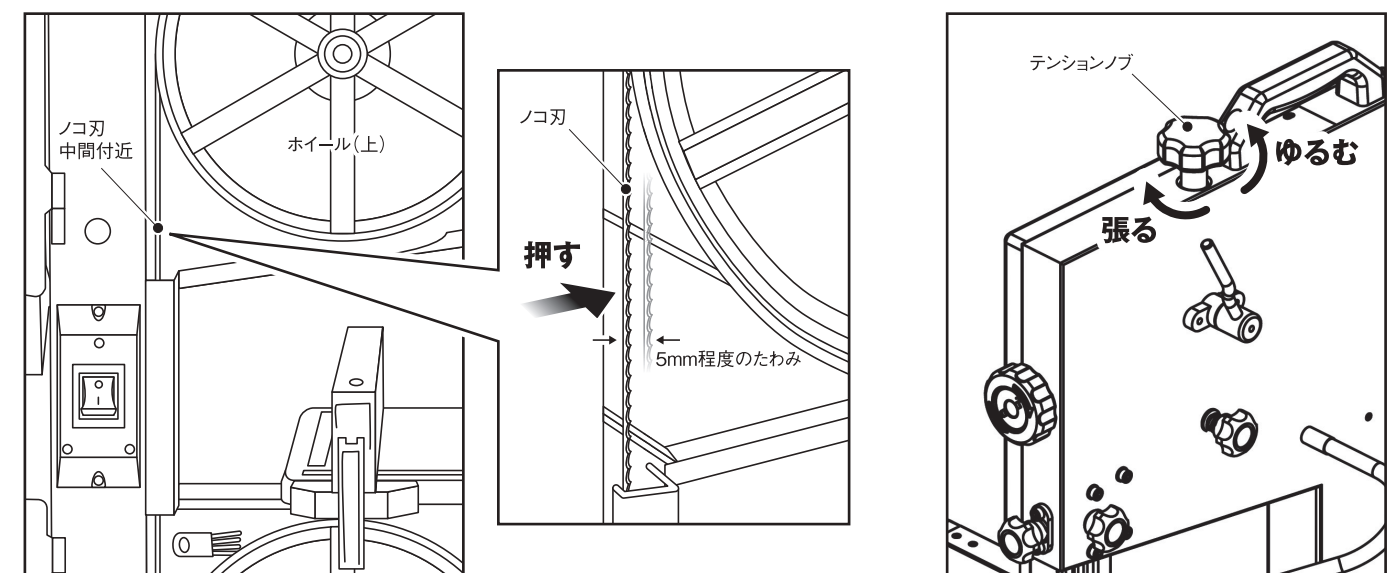
3) ノコ刃の位置調整

- カバー固定ノブを時計回りに回して、前面カバー(上下)を開いてください。
- ホイール(上)をゆっくりと回してノコ刃を回転させて、ノコ刃がホイール外周の中心を通っているか確認してください。ノコ刃が中心からずれている場合は、ホイール(上)の傾斜角度を調整して、ノコ刃の位置調節が必要です。
- ホイール(上)をゆっくりと回してノコ刃を回転させながら、トラッキングノブを回して、ノコ刃位置を調節してください。トラッキングノブを時計回りに回すにつれてノコ刃は前方に、反時計回りに回すと後方に移動します。



4) ノコ刃の張り調整

- ※ノコ刃の張り過ぎは、ノコ刃が外れたり、早期断裂の原因になります。また、張りがゆるいと、ノコ刃がホイール上でスリップしたり、切断中にノコ刃が止まる事があります。
- ホイール(上)の左側で、ノコ刃の中間付近を側面から指で押して(約2~2.5kg)ノコ刃のたわみが5mm程度になるようにテンションノブを回して、ノコ刃の張りを調節してください。(テンションノブー時計回り：張る、反時計回り：ゆるむ)



5) 上部ブレードガイドの調整

※切断の前には必ず、上部ブレードガイドの調節をしてください。

■上部ブレードガイドの高さ調整調節

- ブレードガイドは、ガイド固定ノブをゆるめて、高さ調節ノブを回すと調節できます。高さ調節ノブを、時計回りに回すとガイドが下がり、反時計回りに回すと上がります。
- 前面カバー(上)を開いてください。
- ガイドカバーを開いて、各ブレードサポートベアリングの位置調整をしてください。ベアリングの位置調整が終わりましたら、ガイドカバーを閉じてください。



前面カバーを開かなければ、ガイドカバーは開くことが出来ません。また、ガイドの高さがテーブル面から60mm以上上の位置にある時は、ガイドカバーが本体フレームに接触するため開閉は出来ません。)

※切断の前には必ず、各ブレードサポートベアリングの位置を調節してください。

■ガイドベアリングの前後位置

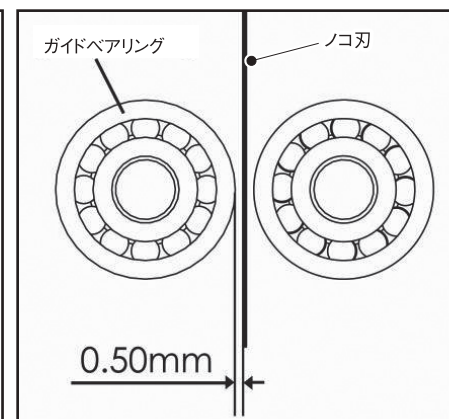
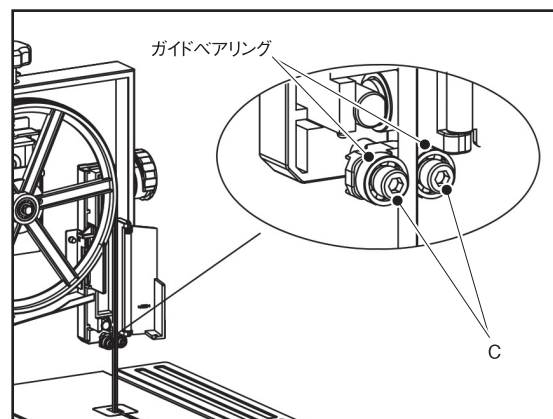
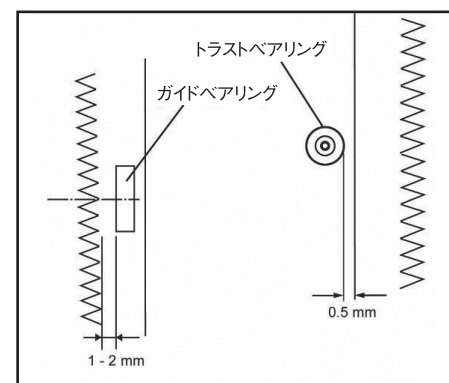
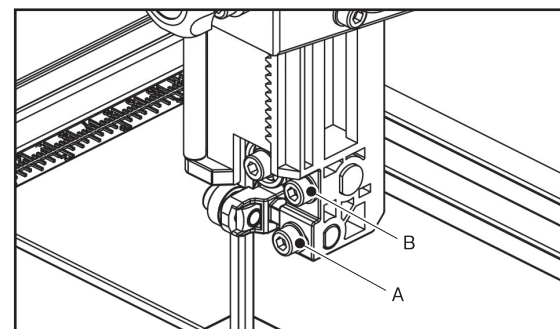
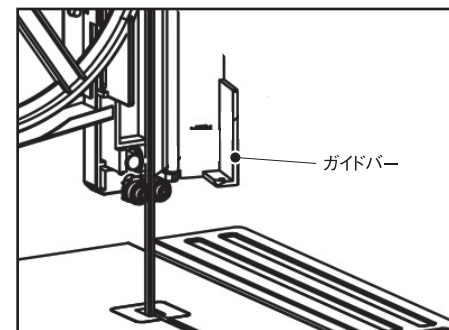
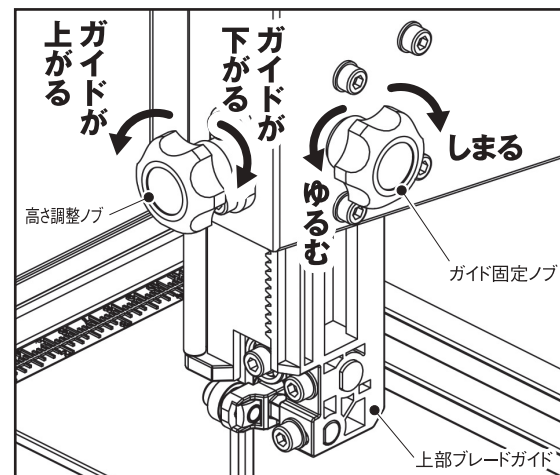
- ネジA(4mm六角穴)をゆるめると、ガイドベアリングの前後の位置調節が出来ますので、ノコ刃先の根元から1~2mmにベアリングが位置するように調節してください。

■トラストベアリングの前後位置

- ネジB(4mm六角穴)をゆるめると、トラストベアリングの前後の位置調節が出来ますので、ノコ刃の背面から0.5mm(ハガキ2枚分の厚み程度)になるように調節してください。

■ガイドベアリングの左右位置

- ガイドベアリングの中央にありますネジC(4mm六角穴)をゆるめると、ガイドベアリングの左右の位置調節が出来ますので、ノコ刃の側面から0.5mm(ハガキ2枚分の厚み程度)にベアリングが位置するように調節してください。



6) 下部ブレードガイドの調整

※切断の前には必ず、下部ブレードガイドの調節をしてください。

■ガイドベアリングの前後位置

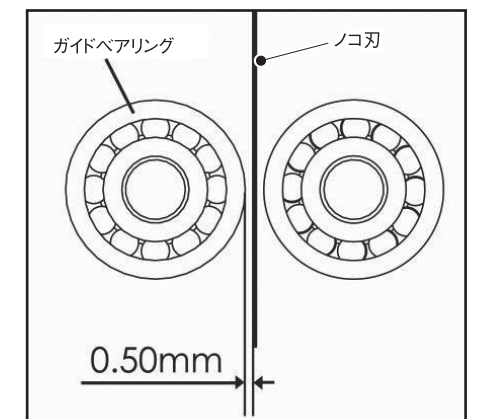
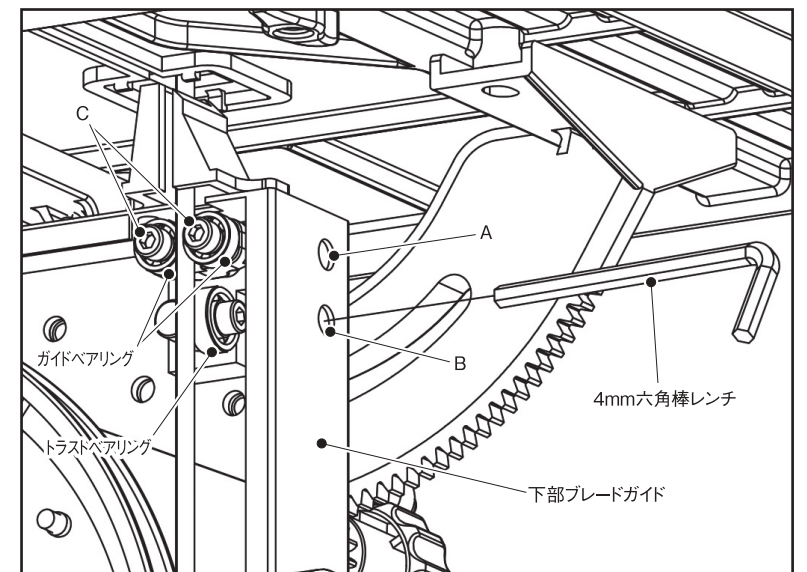
- 下部ブレードガイド側面の穴Aから、4mm六角棒レンチを差し込んで、奥にある六角穴付ネジをゆるめると、ガイドベアリングの前後の位置調節が出来ますので、ノコ刃先の根元から1~2mmにベアリングが位置するように調節してください。

■トラストベアリングの前後位置

- 下部ブレードガイド側面の穴Bから4mm六角棒レンチを差し込んで、奥にある六角穴付ネジをゆるめると、トラストベアリングの前後の位置調節が出来ますので、ノコ刃の背面から0.5mm(ハガキ2枚分の厚み程度)になるように調節してください。

■ガイドベアリングの左右位置

- ガイドベアリングの中央にありますネジC(4mm六角穴)をゆるめると、ガイドベアリングの左右の位置調節が出来ますので、ノコ刃の側面から0.5mm(ハガキ2枚分の厚み程度)にベアリングが位置するように調節してください。



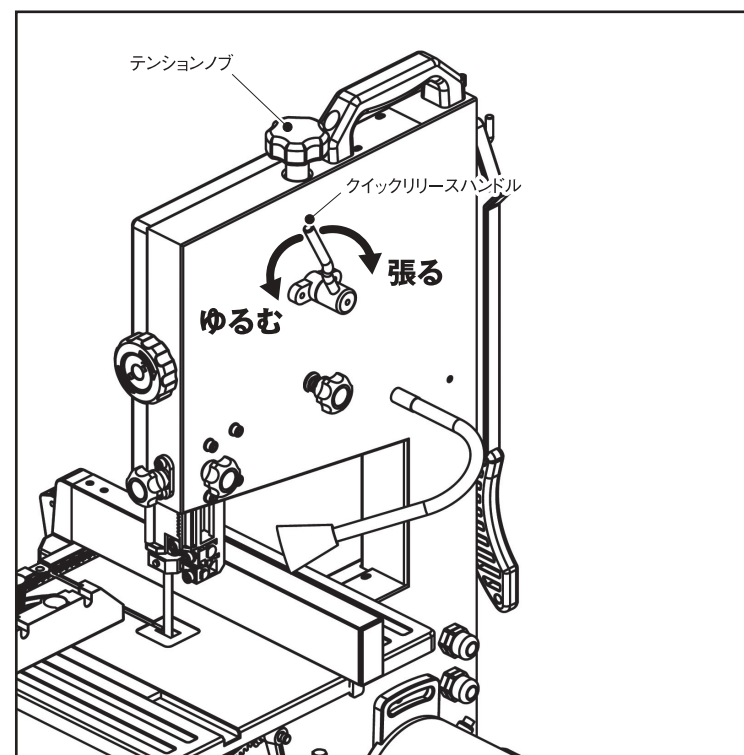
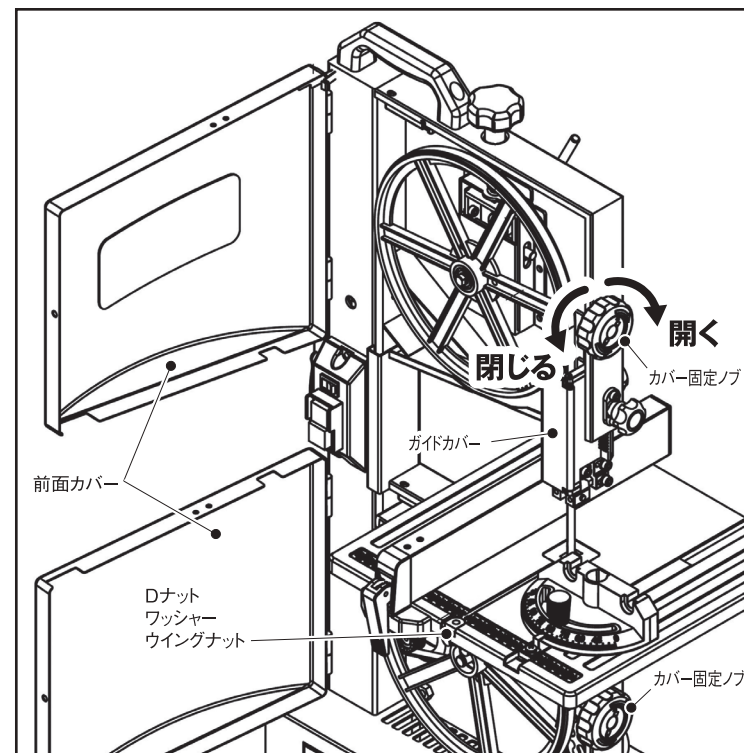
7) ノコ刃の交換方法



警告

- 電源コードがコンセントから抜けていることを確認してください。
- 電源スイッチが切れていることを確認してください。
- ノコ刃の刃先は大変鋭利で危険です。取り付けや取り外しの際は、必ず手袋を着用し手を傷つけないように十分に注意して取り扱ってください。
- 時々、新しいノコ刃の刃先が上向きになっていることがあります。これは輪状の刃が裏返しになったために、刃先の向きが逆さまになっているためです。ノコ刃の背中側を押すようにしてノコ輪を裏返すことで、刃先の向きは戻ります。

1. テーブルからDナット、ワッシャー、ウイングナットを取り外してください。
 2. カバー固定ノブを時計回りに回して、前面カバー（上下）を開いてください。
 3. 上部ブレードガイドの高さを一番下まで下げてください。
 4. 上部ブレードガイドの、ガイドカバーを開いてください。
 5. 本体背面にあるクイックリリースハンドルを反時計回りに目一杯回して、ノコ刃の張りをゆるめてください。
- ※外れにくい場合は、テンションノブを反時計回りに回して、ノコ刃の張りをさらにゆるめてください。
6. ノコ刃を本体から取り外して、新しいノコ刃を、刃先が下向きになるように取り付けてください。
- ※下側のプーリーから掛けますと、取り付けしやすいです。
7. クリックリリースハンドルを時計回りに回し元の位置に戻してノコ刃を張り、テーブルにDナット、ワッシャーを取り付けてください。
 8. ノコ刃の位置、張りの調整をしてください。
 9. 上部ブレードガイド、下部ブレードガイドの調整をしてください。
 10. 上部ブレードガイドの、ガイドカバーを閉じてください。
 12. 前面カバー（上下）を閉じてください。



8) 駆動ベルトの張り調整

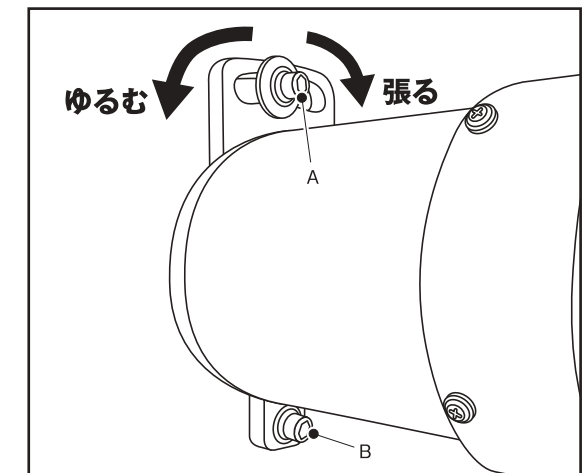


注意

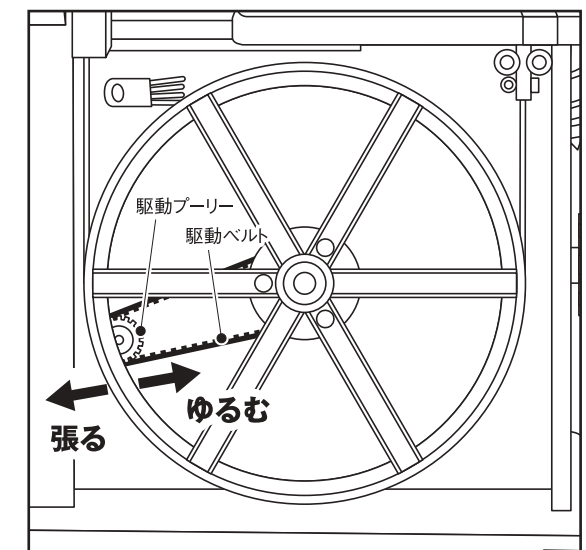
- 工場出荷時に駆動ベルトの張り調整は行われていますが、もしも以下のような症状がでましたら、駆動ベルトの張りを調整してください。
- ベルトの駆動音が“キューン”と甲高い → ベルトの張りが強い
 - ベルトの駆動音が“ガタガタ”“ゴトゴト”と鈍い音がする → ベルトの張りが弱い

1. 6mm六角棒レンチを使って、モーターと本体とを接続している六角穴付ネジAおよびBをゆるめてください。
2. ネジBを支点としてモーターを左右に回しますと、本体内部の駆動プーリーが動くことで、駆動ベルトの張り調整が出来ます。
3. ベルトの張りの調整ができましたら、ネジA、Bをしっかり締め付けてください。

モーター側



駆動プーリー側



作業方法

1) 切断作業

※安全のために、切断作業に際しましては以下の事項に注意してください。

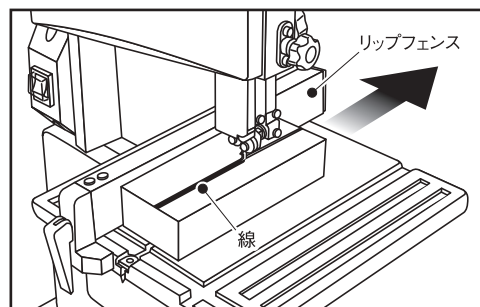
- 切断中は絶対に、ノコ刃に触れないでください。
- 切断中は保護メガネを着用してください。また、手袋は着用しないでください。
- 一度に複数の材料をまとめて切断しないでください。
- 材料はしっかりと作業テーブルに押し当ててください。
- ノコ刃に対して、ノコ刃の回転が止まるような荷重で材料を押し付けしないでください。
- フェンスに対して平行に切るときは、押し棒を使用してください。
- 長尺材を切断する際には、テーブル面と同じ高さのワークサポート(支え台)を使用してください。
- 丸材を切断するときは、材料が動かないようしっかりと固定してください。
- 作業を始める前に、ノコ刃、ブレードガイド(上下)の状態を確認してください。
- 破損した部品はすぐに交換してください。



- 1.電源プラグをコンセントに接続してください。
- 2.テーブルに材料を置き、上部ブレードガイドを可能な限り材料表面近くまで下げてください。(材料表面から2～3mm)
- 3.電源スイッチを入れてください。
- 4.ノコ刃の回転が十分に上がりましたら、両手で材料をしっかりと支えてゆっくりと材料をノコ刃に当ててください。
- 5.マイターゲージを使用される場合は、スコヤまたは三角定規などで角度を測り、ネジでしっかりと固定してください。

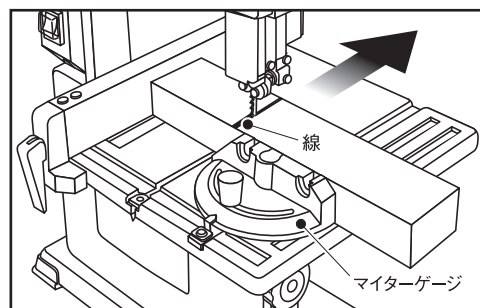
■縦挽き切断

- あらかじめ切断箇所に合わせて線を引き、線に沿ってゆっくりと切断してください。
- 切断するときは、材料をノコ刃に向かわせてゆっくりと押しながら切り進めてください。
- リップフェンスを使用すれば、よりスムーズな切断ができます。



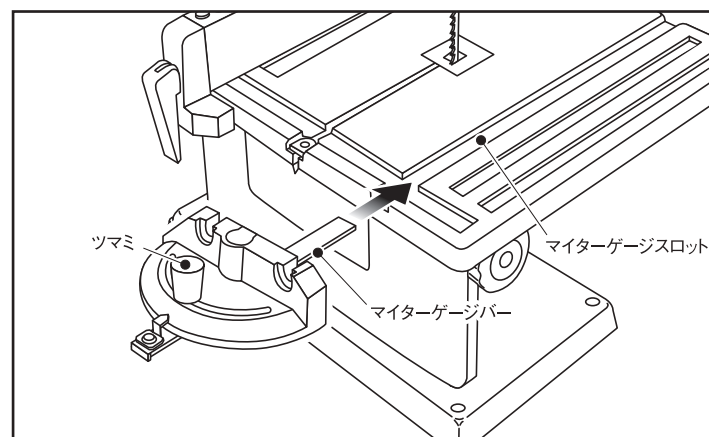
■横挽き切断

- あらかじめ切断箇所に合わせて線を引き、線に沿ってゆっくりと切断してください。
- 木目に沿った縦挽き切断と異なり、抵抗が強いので、ゆっくりと材料を押し進めてください。
- マイターゲージを使用すれば、角度切断も容易にできます。



【マイターゲージの使い方】

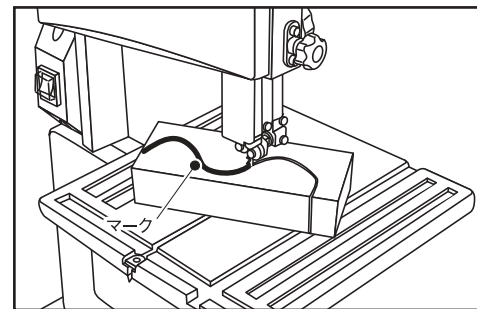
- マイターゲージのツマミをゆるめて、お好みの角度に調整してください。
- マイターゲージに材料を当てて、しっかりと保持してください。
- ノコ刃が材料に触れていないことを確認してから、スイッチを入れてください。
- マイターゲージスロットに、マイターゲージバーを合わせて材料を両手でしっかりと保持した状態で、静かに前方方向へ進め切り終えるまでその状態を保ってください。



■曲線切断

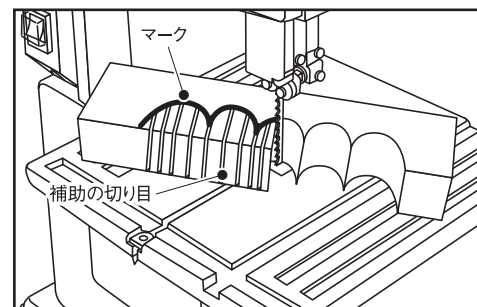
- あらかじめ材料に切断軌跡をマークしてください。
- 材料に余分な部分が大きくある時は、先に余分な部分を直線切断で除去しておいてください。
- 材料の向きをゆっくりと変えながら、マークに沿って切断してください。

※切断中にノコ刃をひねりますと、ノコ刃が折れる恐れがありますので、切断しにくい箇所は無理に切り進めようとせず、切り進めては材料を少し戻し刃先の向きを少し変え、再度切り進む、を繰り返して切断してください。



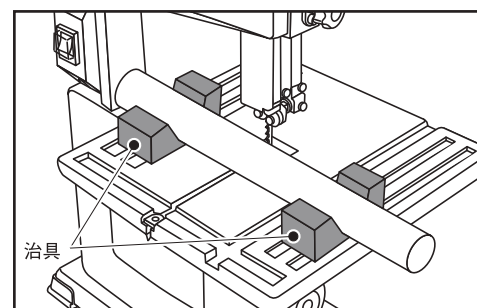
■複雑で細かい曲線の切断

- 半径が小さい曲線を切断する場合は、補助の切り目を入れることで切り易くなります。
- 補助の切り目は、材料のマークのところまで切り目入れた後、注意深く刃を戻してください。
- いくつかの切り目をクシ目状に入れた後、マークに沿って切れば、各部分が切り落とされるにしたがって歯にかかる圧力が小さくなり、切り進め易くなります。



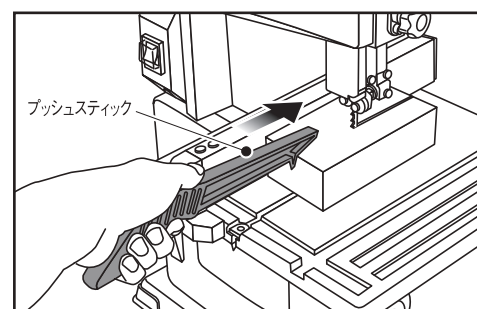
■丸棒の切断

- 丸棒の切断は大変危険です。刃の回転に引っ張られ材料が前方に回転します。
- 丸棒を切断する場合は、図のような丸棒切断治具を利用してください。
- ただし、これらの治具はご自身で作成してください。



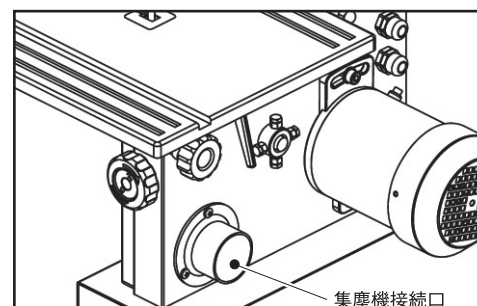
【プッシュスティックの使い方】

- 材料を保持する手がノコ刃に接近する場合は必ず、プッシュスティック(押し棒)を使用してください。



2) 集塵機の接続

- 本機をご使用の際は、集塵機を接続してください。
- 集塵機接続口は本体テーブル背面テーブルの下方向にあります。
- 集塵機接続口の外径は約53mm、内径は約49mmです。



保守・点検

作業後の保管

- 作業後は必ず電源元よりプラグを抜いて、お子様の手の届かない場所へ保管してください。また、長期間使用しない場合は、ほこりやサビが付かないようにして保管してください。

■清掃

- 粉塵やおが屑はこまめに取り除いてください。特にモーター・スイッチ周辺は粉塵の影響により故障が発生しやすいので注意してください。テーブル面やノコ刃に付着した、にかわや松ヤニも丁寧に取り除いてください。特にノコ刃に付着した樹液は、切断効率を低下させ、モーター負荷が大きくなり故障の原因となります。

故障内容と対処方法

使用中に機械の調子が悪かったり、異常を感じましたらすぐに機体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、以下の点をご確認ください。

- 1.「取扱説明書」を読み直して、使用方法に誤りがないか。
- 2.下記の代表的な症状が当てはまるか確かめる。

症状	原因	対処方法
●スイッチをONにしても動かない	1.スイッチ、コードまたは電源プラグの損傷 2.モーター故障 3.配線不良 4.起動コンデンサの劣化 5.駆動ベルトの摩耗、損傷	1.清掃または損傷部品の交換 2.修理依頼 3.修理、点検依頼 4.起動コンデンサの交換(修理依頼) 5.駆動ベルトの交換(修理依頼)
●ノコ刃がホイールの中心から離れる	1.調整不備 2.ノコ刃の張り過ぎ	1.「ノコ刃の位置調整」を参考に再度調整 2.ノコ刃の張りをゆるめる
●切断中、ノコ刃が減速する	1.加工半径が小さ過ぎる 2.材料をノコ刃に押し付け過ぎ 3。ノコ刃の切れ味低下	1.回転が上がるまで元に戻す 2.回転が上がるまで元に戻す 3.ノコ刃の交換
●ノコ刃の破損	1.ノコ刃の張り過ぎ 2.加工半径が小さ過ぎる(ノコ刃を捻っている) 3.材料の送り速度が早過ぎる	1.ノコ刃の張りをゆるめる 2.「切断作業」の「曲線切断」、「複雑で細かい曲線の切断」を参考に、ノコ刃を捻らずに切断する 3.材料を切り進む速度に合わせて、材料を押し進める
●作業中の騒音	1.ノコ刃の張り過ぎ 2.ブレードガイドやベアリングとの接触	1.ノコ刃の張りをゆるめる 2.ブレードガイド、サポートベアリングの位置調整
●真っ直ぐに切れない、曲がる	1.ノコ刃あるいは本体の能力に対して、材料が厚過ぎるまたは堅過ぎる 2.ノコ刃の切れ味低下	1.材の堅さや厚みに合ったノコ刃を使う本体能力の範囲内で作業を行う 2.ノコ刃の交換

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	木工用バンドソー SWB-300W		お買い上げ日		保証期間
			年	月	日
お客様	ご住所	〒			
	ご芳名				
	電話				
販売	住所				
	店名				

※上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
- (ニ) 本書のご提示がない場合。
- (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存して下さい。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

総発売元



藤原産業株式会社